



独の学生に活動伝える



4年

松村優依

広島文化学園大と教育・研究に関する提携を結んでいるドイツのNRWカトリック大の学生13人が、同学園大阿賀キャンパス（呉市）を訪れ、教育交流会に参加した。

会では、長束キャンパス（広島市安佐南区）の子ども学科の学生を中心に進めているウクライナの子ども支援活動について、同学科の2人が発表。2020年度から取り組んでいるウクライナの子ど

ウクライナ支援 英語で紹介

もたちとの手紙の交換や、ロシアのウクライナ侵攻後に始めた支援募金、平和の願いを書いて送るメッセージカード作りについて英語で紹介した。

分かりやすく説明するため事前準備にも力を入れた2人だが、当日は緊張した様子だった。リネア・ハイアーマンさん(23)は「ドイツでの活動は知っていたが、日本でもこのような取り組みがあるとは」と驚いていた。発表した3年、菅本美紅さん(20)は「自分たちの活動を伝えることでも、他の国の人との交流につながることを知った」と話していた。両大は18年から交流を続けている。



ドイツの大学生に、ウクライナの子ども支援活動について発表する菅本さん（奥左から2人目）たち